Marshall

Broadcast A/V Division

CV355-27X-IP/CV355-27X-ND3

27X IP/ND3 ボックスカメラ



取扱説明書

Marshall

目　次

第１章　安全に関する指示 …… 2

第２章　内容物 …… 3

第３章　機能の紹介 …… 3

3.1 I/O 機能の紹介 …… 3

3.2 タリーインジケーターライトの機能説明 …… 3

第４章　設置手順 …… 4

4.1 基本デバイス …… 4

4.2 デバイスの接続 …… 4

第５章　ネットワーク機能設定の説明 …… 6

第６章　システム …… 18

第７章　トラブルシューティング …… 22

保証　サポート窓口 …… 23

第 1 章 安全に関する指示

製品をセットアップして使用するときは、必ず次の安全手順に従ってください。

1. 操作

1.1 推奨動作環境でご使用ください。
1.2 製品を傾けて置かないでください。
1.3 製品を不安定な台車、スタンド、テーブルの上に置かないでください。
1.4 製品を水や熱源の近くで使用しないでください。
1.5 添付ファイルは推奨された場合にのみ使用してください。
1.6 製品に表示されている電源の種類をご使用ください。利用可能な電源の種類が不明な場合は、販売店または地域の電力会社にお問い合わせください。
1.7 プラグを取り扱う際は、常に以下の注意事項を守ってください。これを守らないと、火花や火災が発生する可能性があります。
■プラグをソケットに差し込む前に、プラグにほこりが付いていないことを確認してください。
■プラグがソケットにしっかりと差し込まれていることを確認してください。
1.8 潜在的なリスクを避けるため、壁のコンセント、延長コード、または多方向プラグボードに過負荷をかけないでください。
1.9 製品本体のスロットや開口部を塞がないでください。
これらの開口部は通気性を確保し、製品の過熱を防ぎます。
1.10 このユーザーマニュアルに特に指示されている場合を除き、カバーを開けたり取り外したりしないでください。
危険な電圧やその他の危険にさらされる可能性があります。すべてのメンテナンスは、資格のあるサービス担当者にご依頼ください。
1.11 以下の状況が発生した場合は、製品を壁のコンセントから抜き、認定されたサービス担当者に修理を依頼してください。
■電源コードが破損または擦り切れている場合。
■製品内に液体がこぼれた場合、または製品が雨や水にさらされた場合。

2. 設置

2.1 セキュリティ上の考慮のため、購入した標準吊り下げラックが UL または CE の安全承認に準拠しており、代理店が承認した技術者によって設置されていることを確認してください。

3. 保管

3.1 コードを踏むような場所に置かないでください。コードやプラグが擦り切れたり損傷したりする恐れがあります。
3.2 キャビネットのスロットにいかなる物も押し込まないでください。また、いかなる液体も製品内にこぼさないでください。
3.3 雷雨のときや長期間使用しない場合は、この製品のプラグを抜いてください。
3.4 本製品または付属品を振動する機器や加熱された物体の上に置かないでください。

4. 清掃

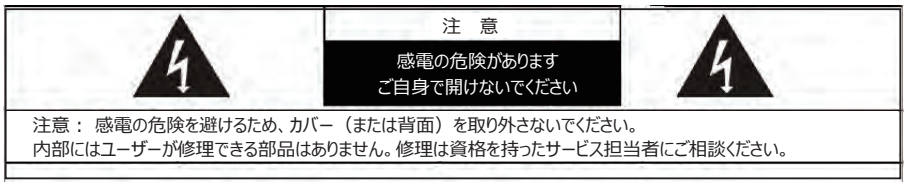
4.1 清掃する前に、すべてのケーブルを抜いてください。清掃には湿らせた布を使用してください。
液体洗剤やエアゾール洗剤は使用しないでください。

5. リモコン（付属品にリモコンが付属している場合）

5.1 リモコンに不適切な種類の電池を使用すると故障の原因となる可能性があります。
使用済み電池の廃棄方法については、お住まいの地域の指示に従ってください。

注 意

警告: 感電の危険を減らすため、この機器を雨や湿気にさらさないでください。
HD カメラを長時間使用しない場合は、電源ソケットからプラグを抜いてください。

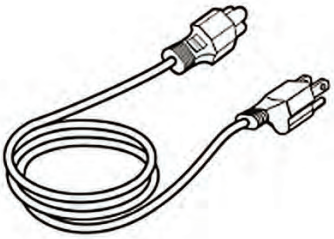


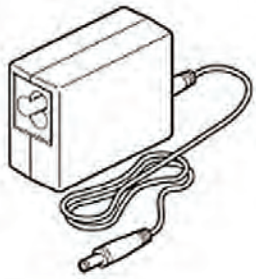
Marshall

第２章　内容物

カメラ	電源コード	電源アダプター







第３章　機能の紹介

3.1 I/O機能の紹介







NO.	アイテム	機能の説明
1	Lens	30X HD カメラレンズ
2	Tally indicator light	カメラのタリーライトの状態を表示します
3	Network port	ネットワークポート、PoE電源供給に対応したルーター またはハブ（IEEE 802.3 af）に対応
4	3G-SDI output	出力解像度の工場出荷時設定は 1080P/60 です
5	HDMI output	HDMI 出力
6	RS232 output	RS232 出力ポート、最大7台のカメラをシリアル接続で接続可能
7	RS232 input	RS232 入力ポート、最大7台のカメラをシリアル接続で接続可能
8	DC 12 V power connector	AC 電源接続ポート
9	Power indicator light	電源を入れると、インジケータライトが赤く点灯します
10	Audio input	ライン入力/マイク入力に対応
11	Audio output	3.5 mmオーディオ入力に対応
12	Tripod screw holes	カメラは（仕様）1/4インチ、20 UNC 三脚デッキに取り付けられています

3.2 タリーインジケーターライトの機能説明

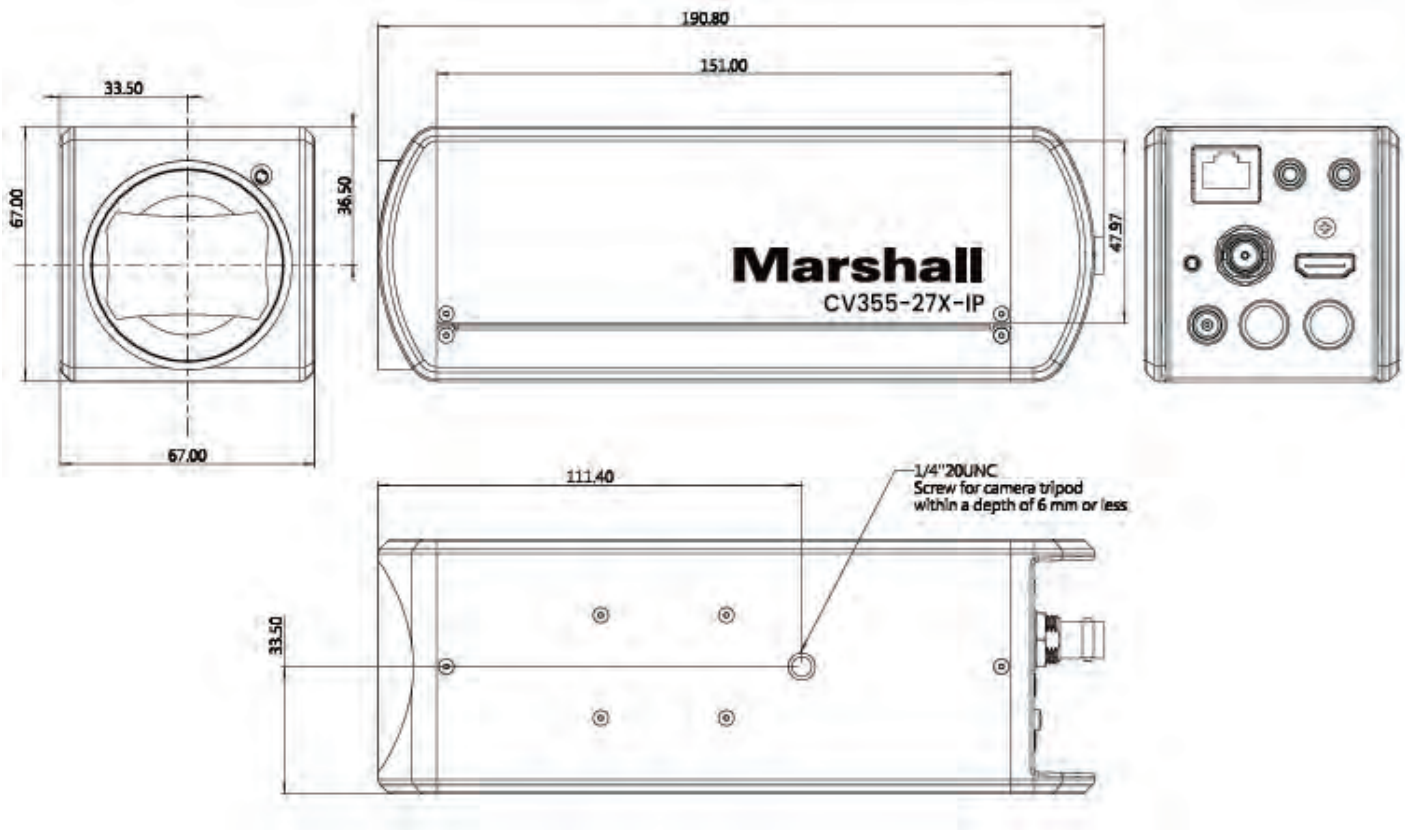
タリーランプ機能は、RS232 コマンドを通じて有効にすることができます。RS-232 コマンドセットドキュメントを参照してください。

第4章 設置手順

4.1 基本デバイス

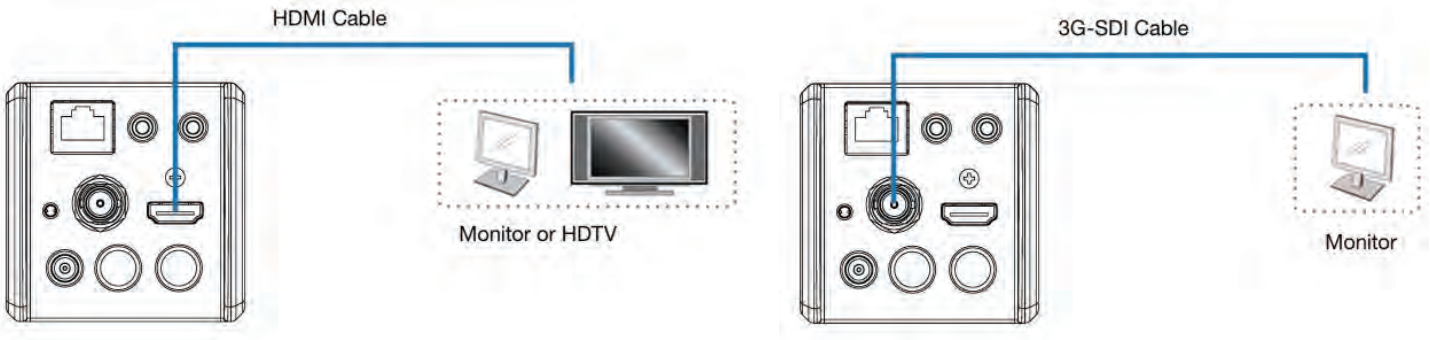
4.1.1 寸法

長さ×幅×高さ： 190.80×67.0×67.0mm
重量： 1kg



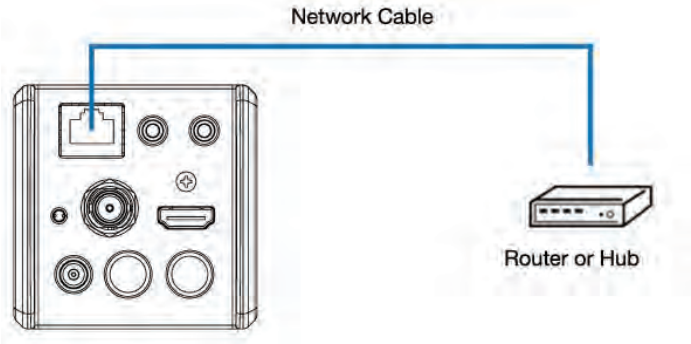
4.2 デバイスの接続

4.2.1 HDMI/3G-SDI を使用して画面に接続

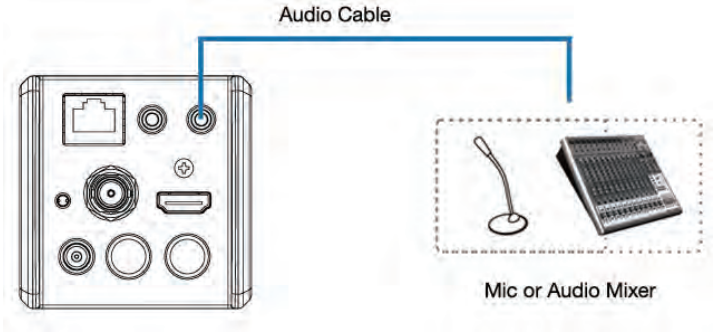


4.2.2 インターネットへの接続

Webページの接続設定と説明の詳細については、第5章 ネットワーク機能設定の説明 を参照してください。



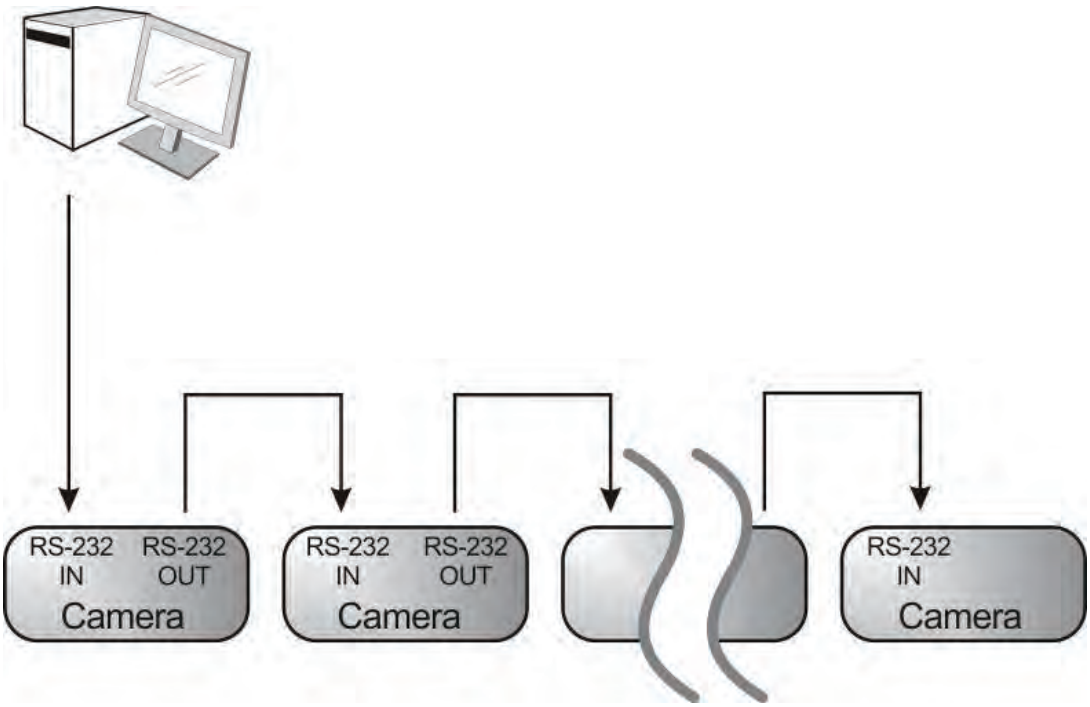
4.2.3 AUDIO IN の接続



4.2.4 RS-232 の接続

■RS-232 シリアル接続

RS-232 入力/出力では最大 7 台のカメラを接続できます。



■RS-232ピン定義の説明

▼RS-232 INピンの説明



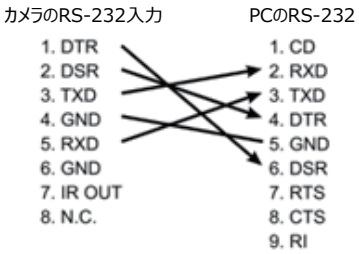
NO	Pins	信号
1	DTR	データ転送読み取り
2	DSR	データセット読み取り
3	TXD	データを送信する
4	GND	グラウンド
5	RXD	データを受信する
6	GND	グラウンド
7	IR OUT	IR接続信号
8	N.C.	接続なし

▼RS-232 OUTピンの説明

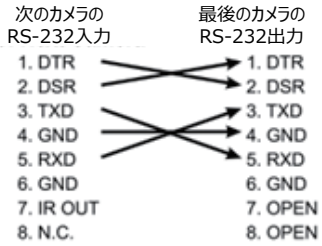


NO	Pins	信号
1	DTR	データ転送読み取り
2	DSR	データセット読み取り
3	TXD	データを送信する
4	GND	グラウンド
5	RXD	データを受信する
6	GND	グラウンド
7	OPEN	Reserved
8	OPEN	Reserved

▼RS-232 接続手順



▼RS-232 接続手順



第５章 ネットワーク機能設定の説明

5.1 Webシステム要件

5.1.1 Webブラウザ:

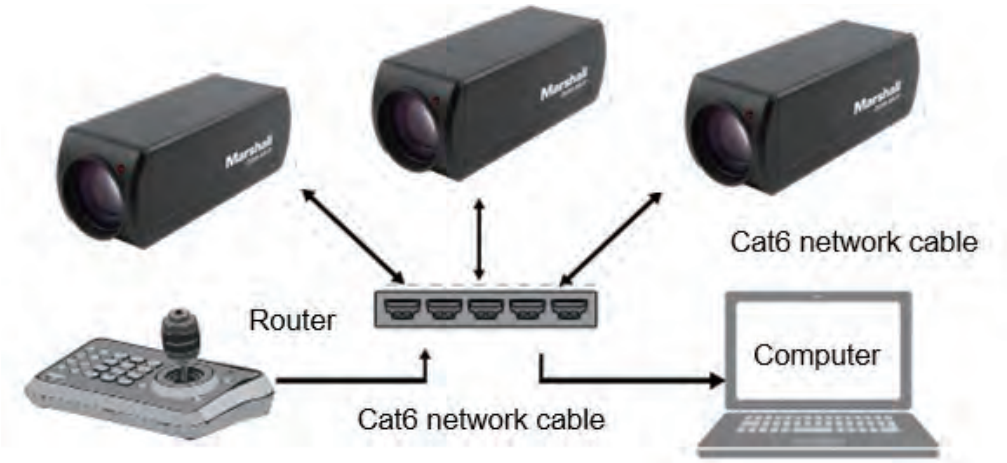
■Internet Explorer 11 以上
■Firefox 66.0.3 以上
■Chrome 73 以上
■Edge 42.17134 以上
■Safari 12.1 以上

5.2 カメラをネットワークに接続する

5.2.1 インターネットへの接続

一般的な2つの接続方法を以下に示します。

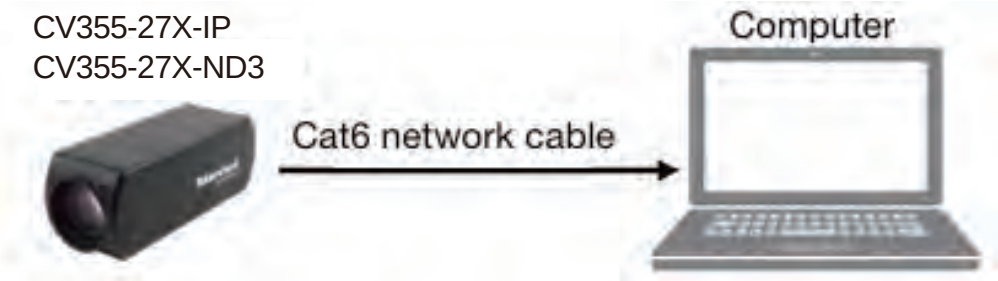
1. スイッチまたはルーター経由で接続する



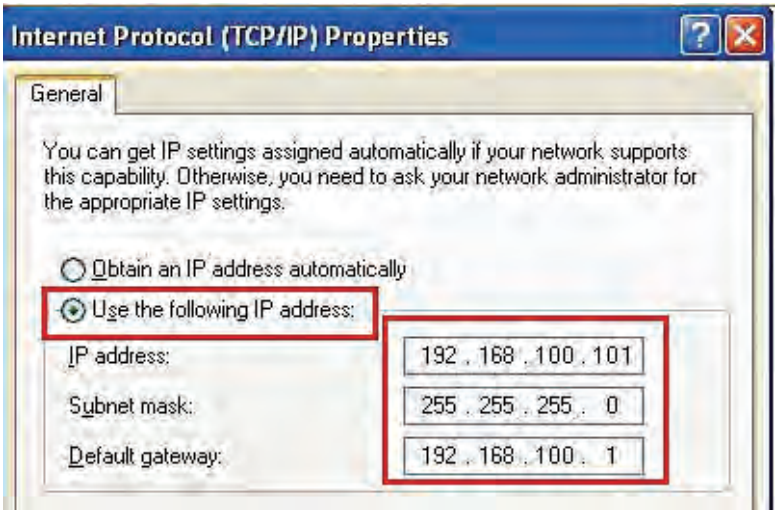
2. ネットワークケーブルで直接接続する場合は、コンピュータのIPアドレスをカメラと同じネットワークセグメントに変更する必要があります。

例： CV355-27X-IP/CV355-27X-ND3 の工場出荷時のデフォルトIPアドレスは 192.168.100.100 です。コンピュータとカメラを正しく接続するには、コンピュータのIPアドレスを 192.168.100.101 のように同じネットワークセグメントに設定する必要があります。

■ 接続図



■ ネットワーク設定を変更する



5.2.2 ブラウザを使用して画像を表示する

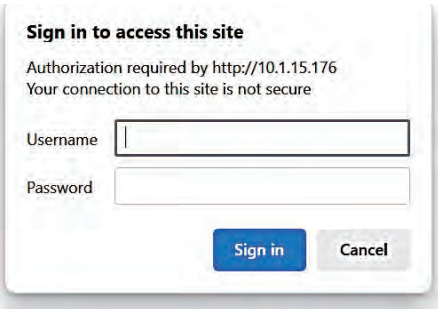
■ ブラウザを開き、IPアドレスバーに CV355-27X-IP/CV355-27X-ND3 のURLを入力します。

例： http://192.168.100.100 (デフォルトの IP アドレス)

■ 管理者のアカウントとパスワードを入力します

アカウント: admin (デフォルト)

パスワード: 9999 (デフォルト)



5.2.3 RTSPプレーヤーを使用して画像を表示する

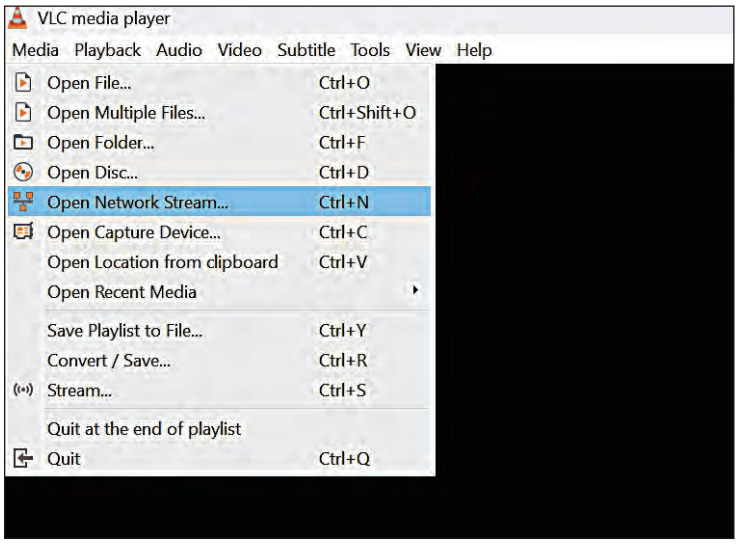
ブラウザやVMSに加え、VLC、QuickTime、PotPlayerなどの他のフリーソフトもRTSP接続に使用できます。

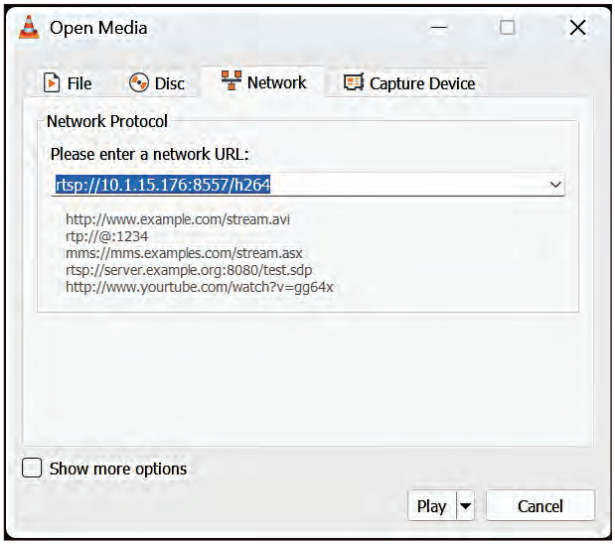
RTSP 接続アドレスの形式は次のとおりです。

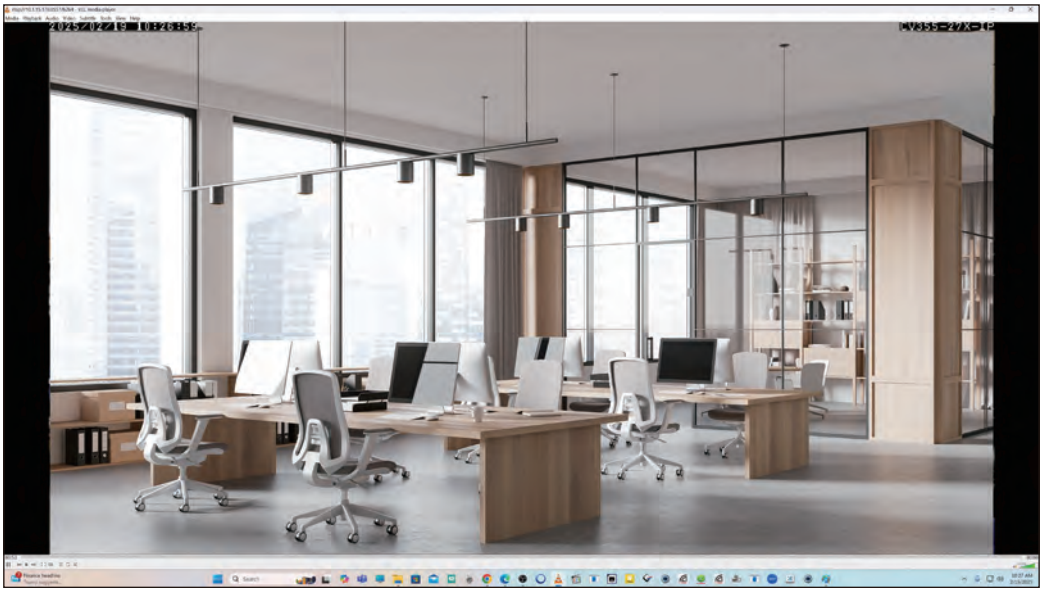
- RTSP メインストリーミング (1080P@H.265) => rtsp://camera IP:8554/hevc
- RTSP サブ1 ストリーミング (1080P@H.264) => rtsp://camera IP:8557/h264
- RTSP サブ2 ストリーミング (720P@H.264) => rtsp://camera IP:8556/h264

パスワード認証が有効になっている場合、RTSP 接続アドレスは次のようになります。

- RTSP メインストリーミング
  rtsp://Username:Password@VC IP address:port/hevc
- RTSP サブ 1/サブ 2 ストリーミング
  rtsp://Username:Password@VC IP address:port/h264
- パスワード認証機能を有効にするには、「5.3.7 Setting - Network」を参照してください。
  例: VC ソフトウェアを開き、URL を入力します。 rtsp://192.168.4.48:8557/h264







5.3 Webページ機能の説明

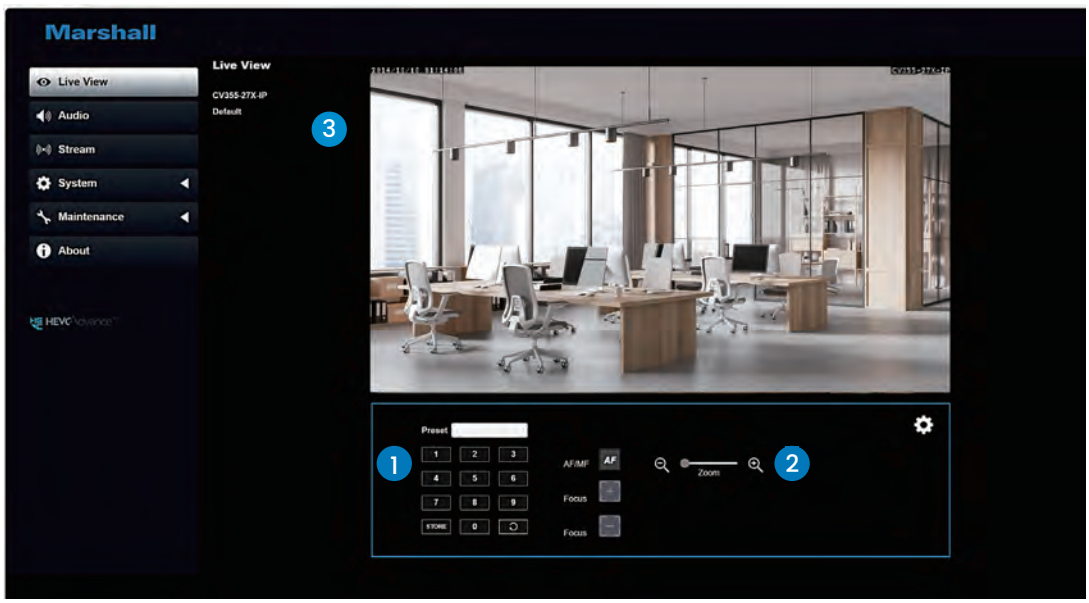
5.3.1 ログイン画面



Webページの URL 列に IP アドレスを入力してログインします。

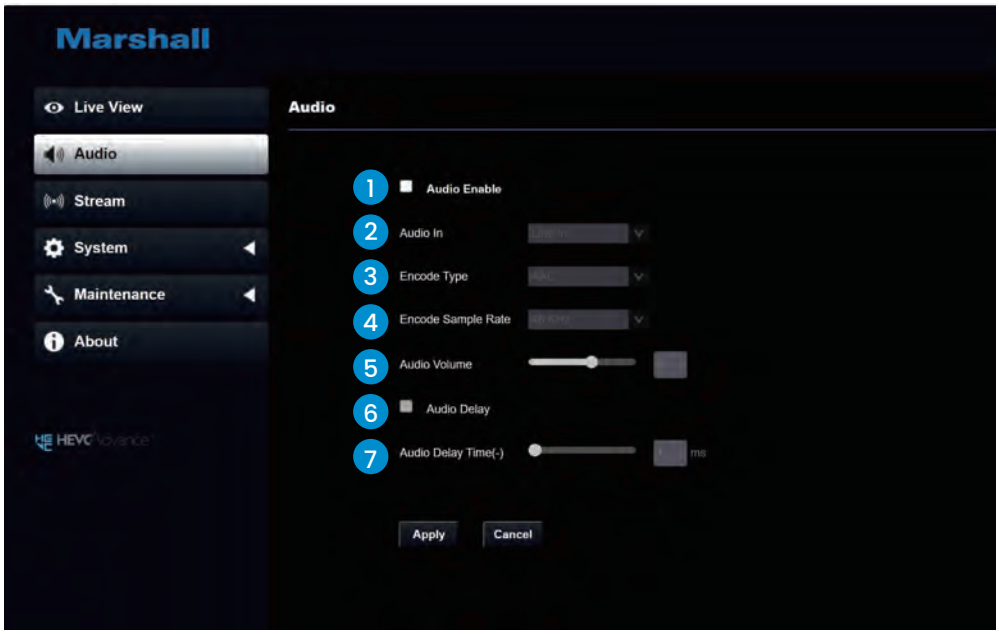
No	アイテム	機能の説明
1	Username	ユーザーアカウントを入力してください。（デフォルト： admin）
2	Password	ユーザーパスワードを入力してください。（デフォルト： 9999）

5.3.2 リアルタイムでの閲覧



No	アイテム	機能の説明
1	Preset Setting	最初に番号を選択し、[Store]ボタンを押して保存するか、[Enter]ボタンを押して トリガーします。
2	Zoom Ratio	スクロールバーでズームインまたはズームアウトの比率を調整します。
3	Preview Window	カメラで現在撮影されている画面を表示します。

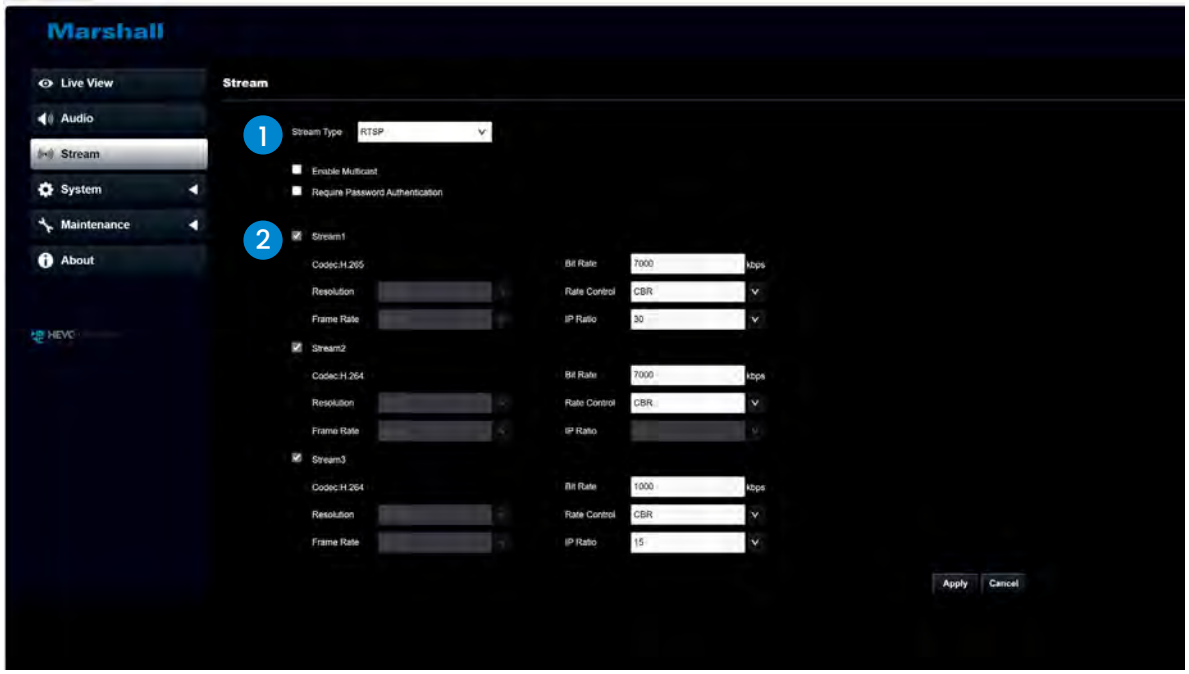
5.3.3 Audio



No	アイテム	機能の説明
1	Audio Enable	サウンドのオン/オフ
2	Audio In Type	マイク入力／ライン入力を設定
3	Encode Type	AAC / G.711
4	Encode sample rate	エンコードサンプルレートを設定 48 KHz (AAC) 44.1 KHz (AAC) 16 KHz (G.711) 8 KHz (G.711)
5	Audio Volume	音量を調整する
6	Audio Delay	オーディオディレイを有効/無効にする
7	Audio Delay Time	オーディオ信号のディレイ時間を設定（-1 ～ -500 ms）

5.3.4 Stream

5.3.4.1 IP Stream



No	アイテム	機能の説明
1	Stream Type	1. **RTSP** マルチキャストを有効/無効にします。ライブ配信を同時に視聴しているオンラインユーザー数が 4人を超える場合は、マルチキャストを有効にすることをお勧めします。 2. **MPEG-TS** ポートは 1024 以上、最大値 9999 の範囲で設定する必要があります。 以下のポートはカメラによって使用されています。 ポートの設定が正しく行われていない可能性があります。 8554、8556、8557、8080、9090、1935 3. **SRT** SRTのフィールドを設定し、STRストリーミングを開く項目にチェックを入れます。 SRTストリーミングが開かれると、起動時に自動的に接続されます。 ポート番号は 1024 以上、最大値 9999 の範囲で設定する必要があります。 以下のポートはカメラによって使用されています。 ポートの設定によっては正しく接続できない可能性があります。 8554、8556、8557、8080、9090、1935 ディレイ時間は 20～8000 マイクロ秒です。 デフォルト値は 120 マイクロ秒です。 4. **SNTP/ Port** SNTP Setting: SNTP サーバ IP を設定します。 Port Setting : HTTP ポートと HTTPS ポートを設定します。 デフォルト値はそれぞれポート 80 とポート 81 です。 ＜注意＞設定の変更はカメラの DHCP 機能がオフになっている場合のみ可能です。

② ストリーミングパラメータ設定

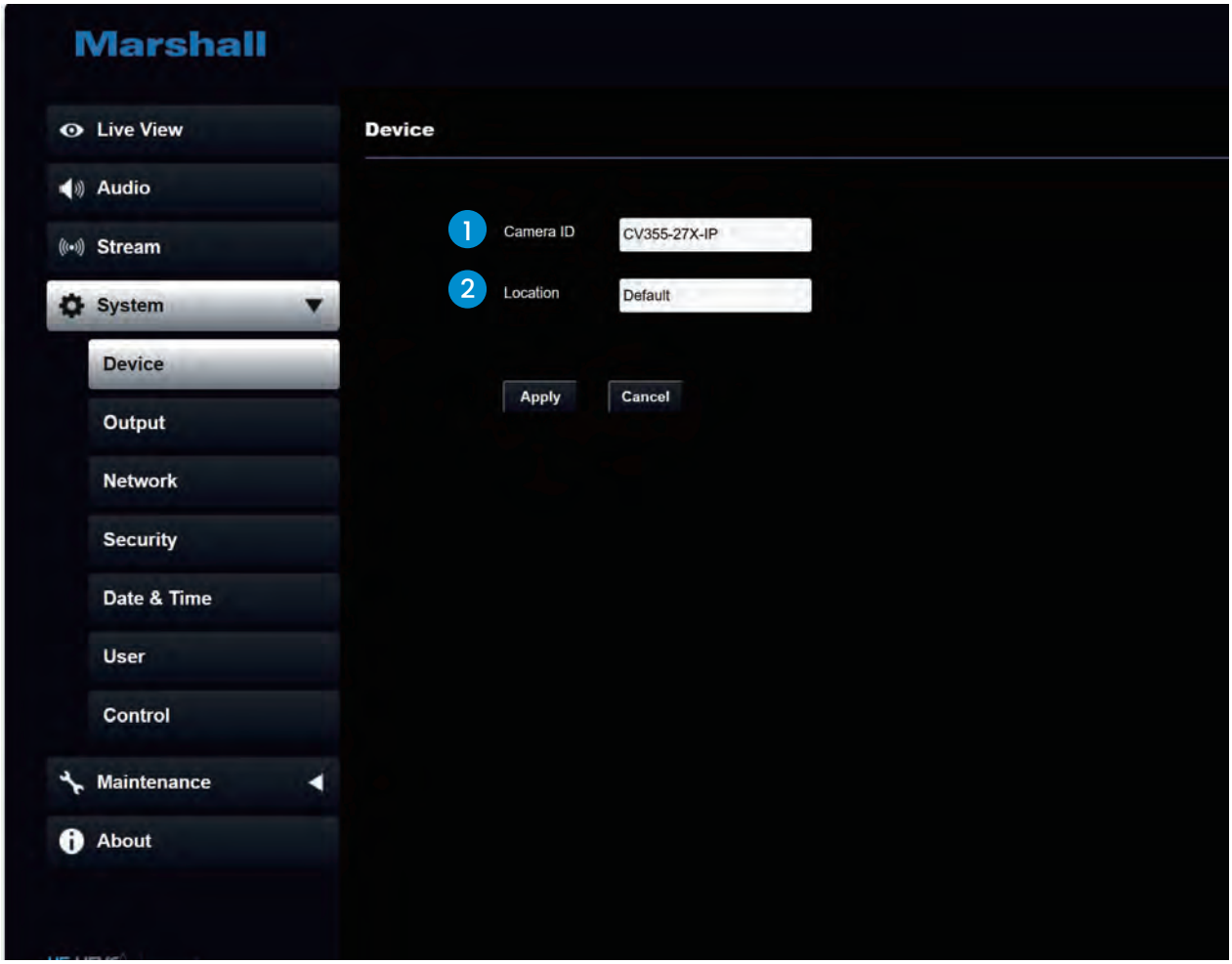
機　能		Streaming 1	Streaming 2	Streaming 3
Encode Format（エンコード形式）		H.265	H.264	
Resolution（解像度）		1080P/720P		640 x 360
Frame Rate（フレームレート）		対応する解像度に応じた設定		
Bit Rate(kbps)（ビットレート）	範囲	2,000 ~ 20,000	2,000 ~ 20,000	512 ~ 5,000
	工場出荷時のデフォルト	7,000	7,000	1,000
Rate Control（レート制御）		CBR/VBR		
IP Ratio（IP比率）		対応する解像度に応じた設定		

5.3.4.2 NDI Stream



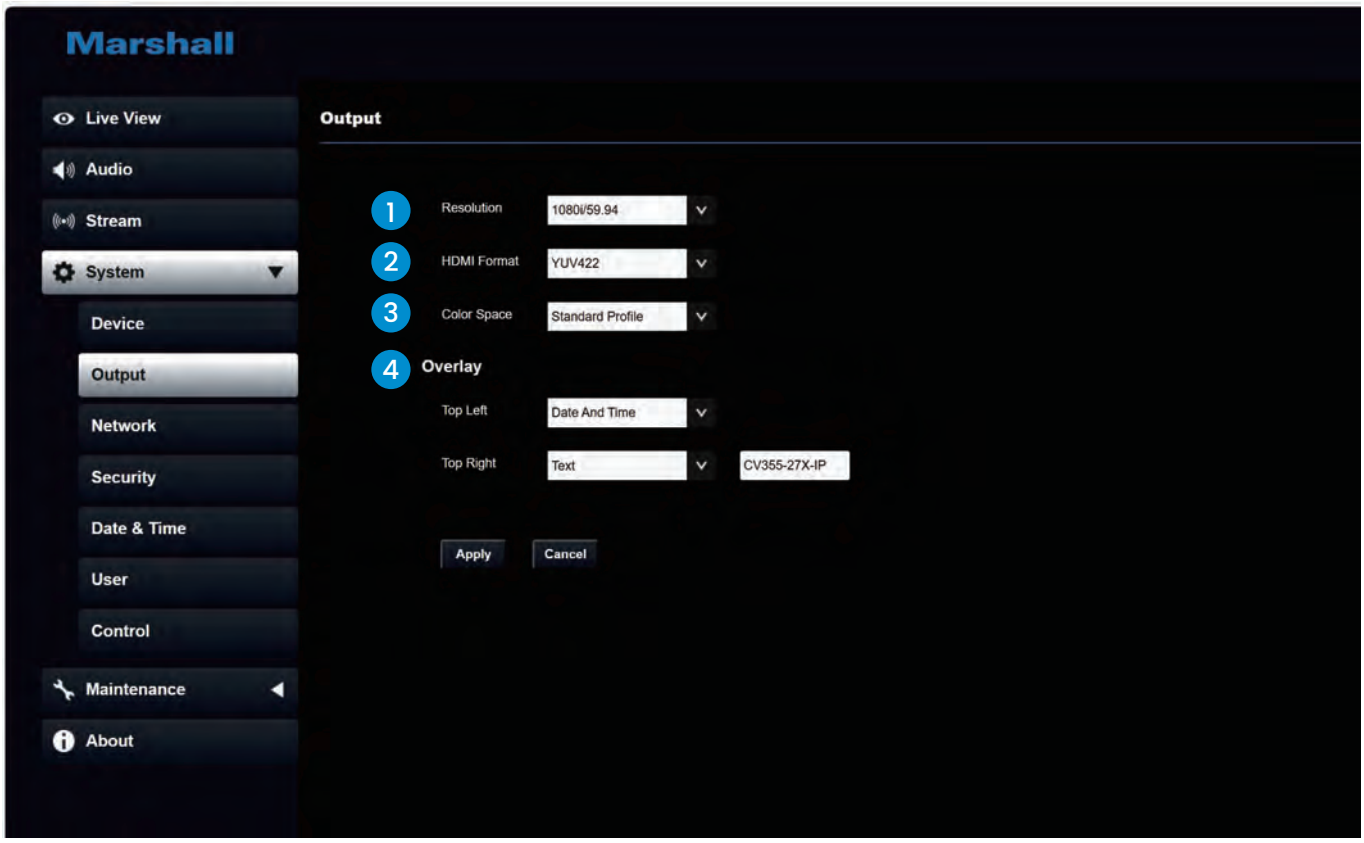
No	アイテム	機能の説明
1	Camera ID/ Location	[System]>[Device] の設定内容に従ってID/場所を表示する
2	Group Name	グループ名はここで変更し、NDI Tool の [Access Manager - Receive] で設定できます。 ■グループが割り当てられていない場合、そのマシンは Public に属します。Access Manager のデフォルト設定には Public が含まれているため、Studio Monitor はこのマシンを検出できます。 ■グループが割り当てられていても、そのグループが Access Manager に追加されていない場合、Studio Monitor はこのマシンを検出できません。 ■グループが割り当てられ、そのグループが Access Manager に追加されると、Studio Monitor はそのマシンを検出できるようになります。 **<注意>** 異なるグループを区別するために、名前にカンマ（,）を含めることができます。例：default, 123, abc とした場合、このマシンは同時に3つのグループ（default、123、abc）に属することになります。
3	NDI|HX	NDI HX 2 / HX3 / Off を設定する ■Off：RTSP, RTMP, RTMPS, MPEG-TS, SRT に対応します。ONVIF でのデバイス検出は可能ですが、NDI Tool は使用できません。 ■HX：HX2 に対応します。 ■HX3：HX3 に対応します。 **<注意>**HX3 は 1080p 60/59.94/50 の解像度のみに対応しています。 **<注意>**HX2/HX3 の動作中は、ONVIF によるデバイスの検出や、RTSP /RTMP/RTMPS/MPEG-TS/SRT ストリームの利用ができません。
4	Encode Format	エンコード形式を表示する
5	Multicast	マルチキャスト設定。同時に画像を視聴しているオンラインユーザー数が4人を超える場合は、マルチキャストを有効にすることをお勧めします。
6	Discovery Serve	サーバーのIPアドレスを入力するには、チェックを入れます
7	Apply/Cancel	設定を変更した後、このボタンを選択して設定を適用/キャンセルします

5.3.5 System - Device



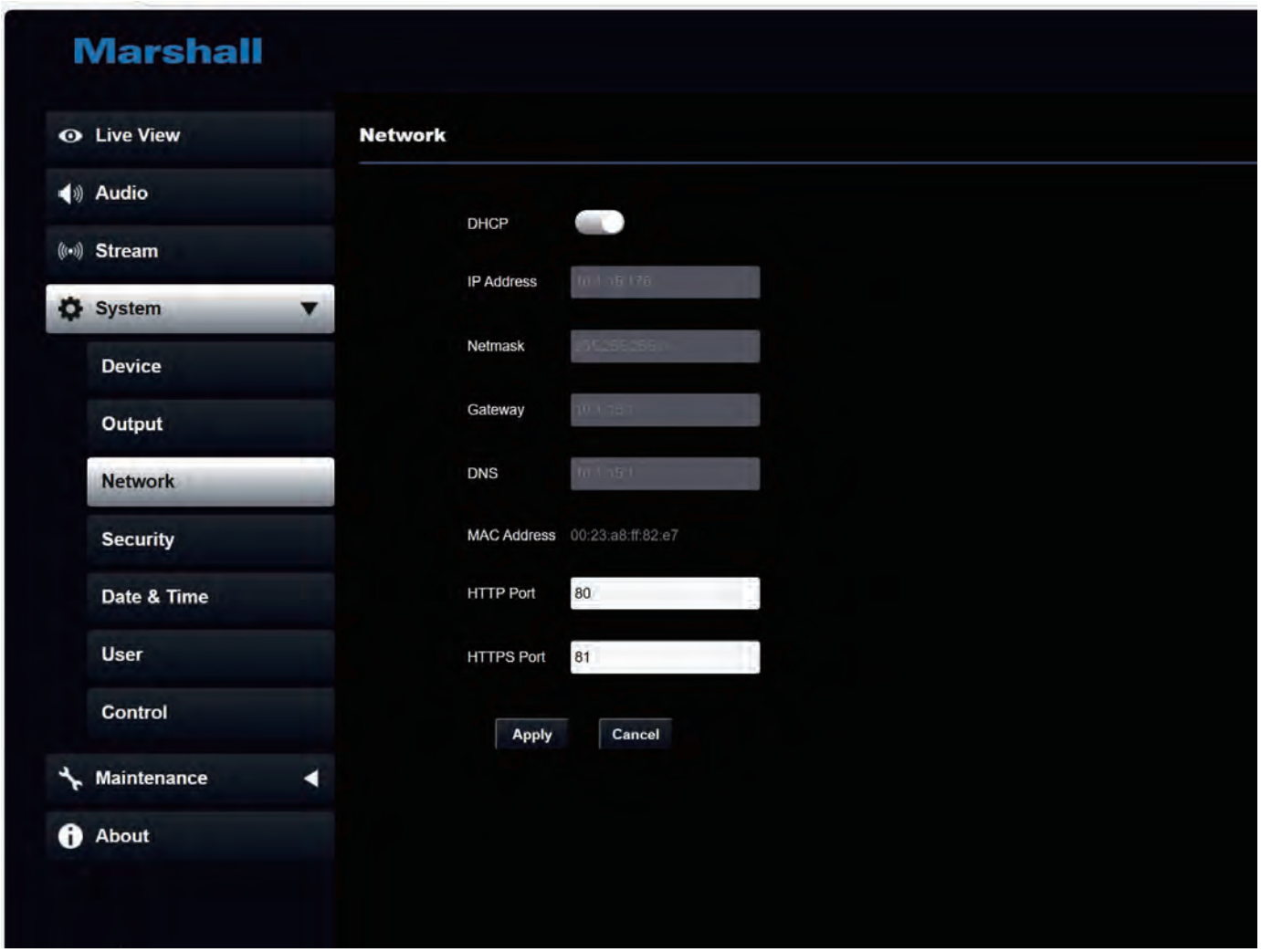
No	アイテム	機能の説明
1	Camera ID	カメラ名を変更します カメラ名は1～12文字に制限されています。 カメラ名には、大文字と小文字、または数字を組み合わせて使用してください。 「/」や「スペース」、特殊記号は使用しないでください。
2	Camera Location	カメラの場所（会議室 1 など）を変更します カメラ名は1～12文字に制限されています。 カメラ名には、大文字と小文字、または数字を組み合わせて使用してください。 「/」や「スペース」、特殊記号は使用しないでください。

5.3.6 System - Output



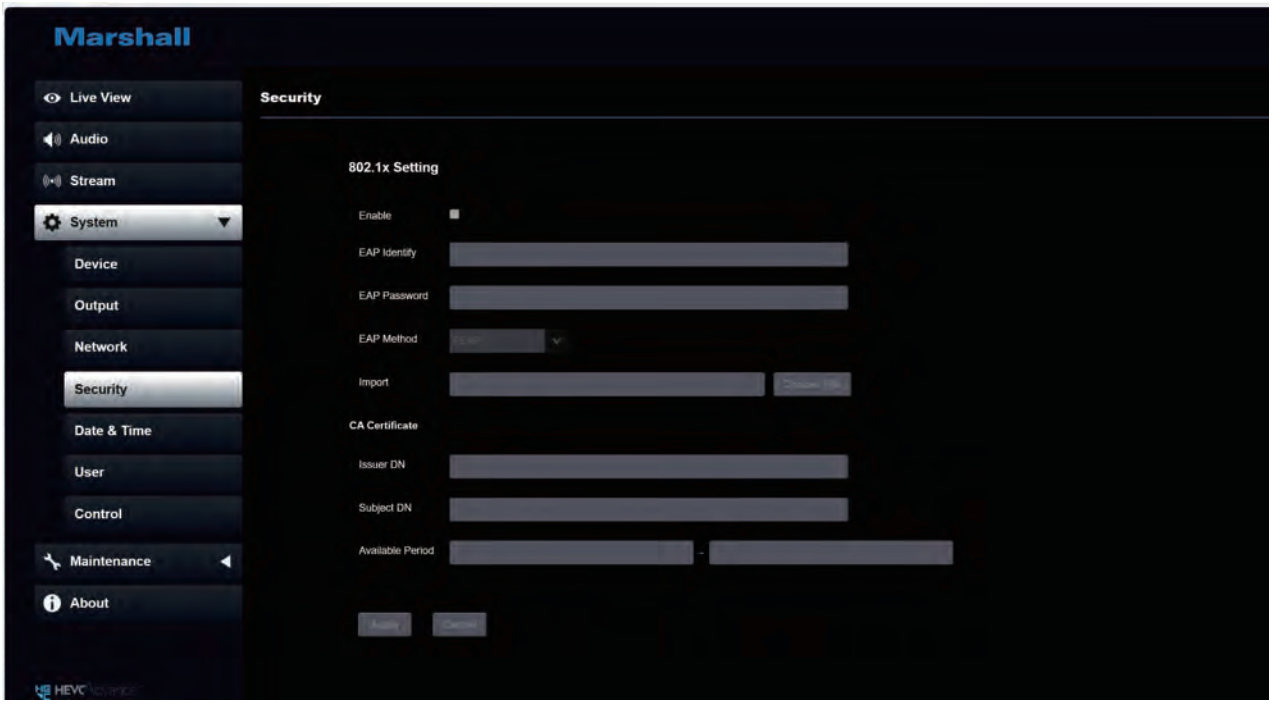
No	アイテム	機能の説明
1	Resolution	カメラの解像度を設定します。カメラで対応している解像度は次のとおりです。 1080p / 60, 59.94, 50, 30, 29.97, 25 1080i / 59.94, 50 720p / 60, 59.94, 50, 30, 29.97, 25 解像度を切り替えた後、カメラは再起動します。 Web サイトに画像が表示されない場合は、ブラウザを更新してください。
2	HDMI Format	YUV422 / RGB
3	Color Space	Standard Profile / REC.709 / BT.2020
4	Overlay	ライブビュー画像とモニターに表示される情報の表示をカスタマイズできます。 表示位置は左側、右側、または両方に設定できます。 1. Date and Time: 現在の日付と時刻を表示します。 2. Text: 必要に応じてカスタマイズされたテキストを入力できます。

5.3.7 System - Network



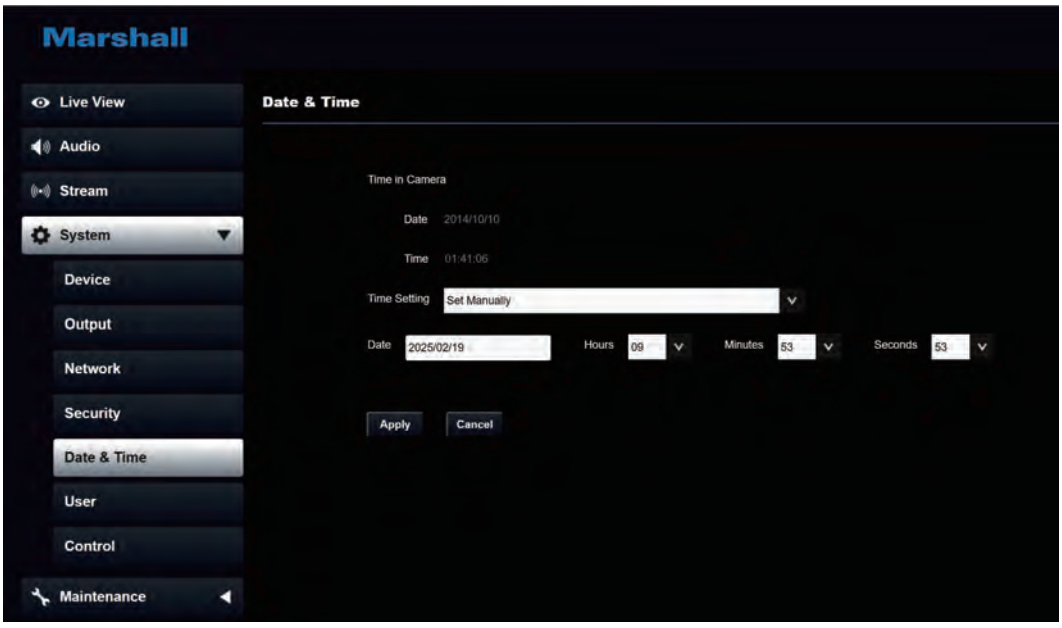
機能の説明
カメラのネットワーク設定。DHCP機能がオフになっている場合のみ設定変更が可能です。

5.3.8 System - Security



機能の説明
802.1x プロトコルを有効/無効にし、有効にした場合は設定を構成します。 <注意>この機能を有効にするには、ルータが 802.1x プロトコルに対応している必要があります。

5.3.9 Date & Time



機能の説明
現在のカメラ/PCの日付と時刻を表示します。同期方法の設定や日付と時刻の変更も可能です。

第６章 システム

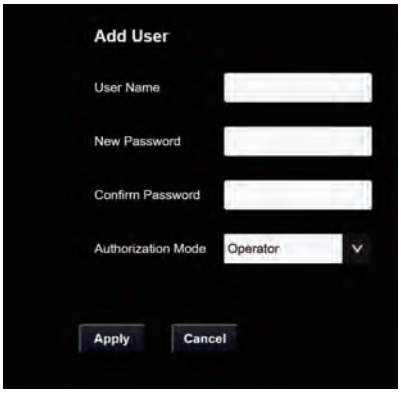
6.1.1 System - User



機能の説明

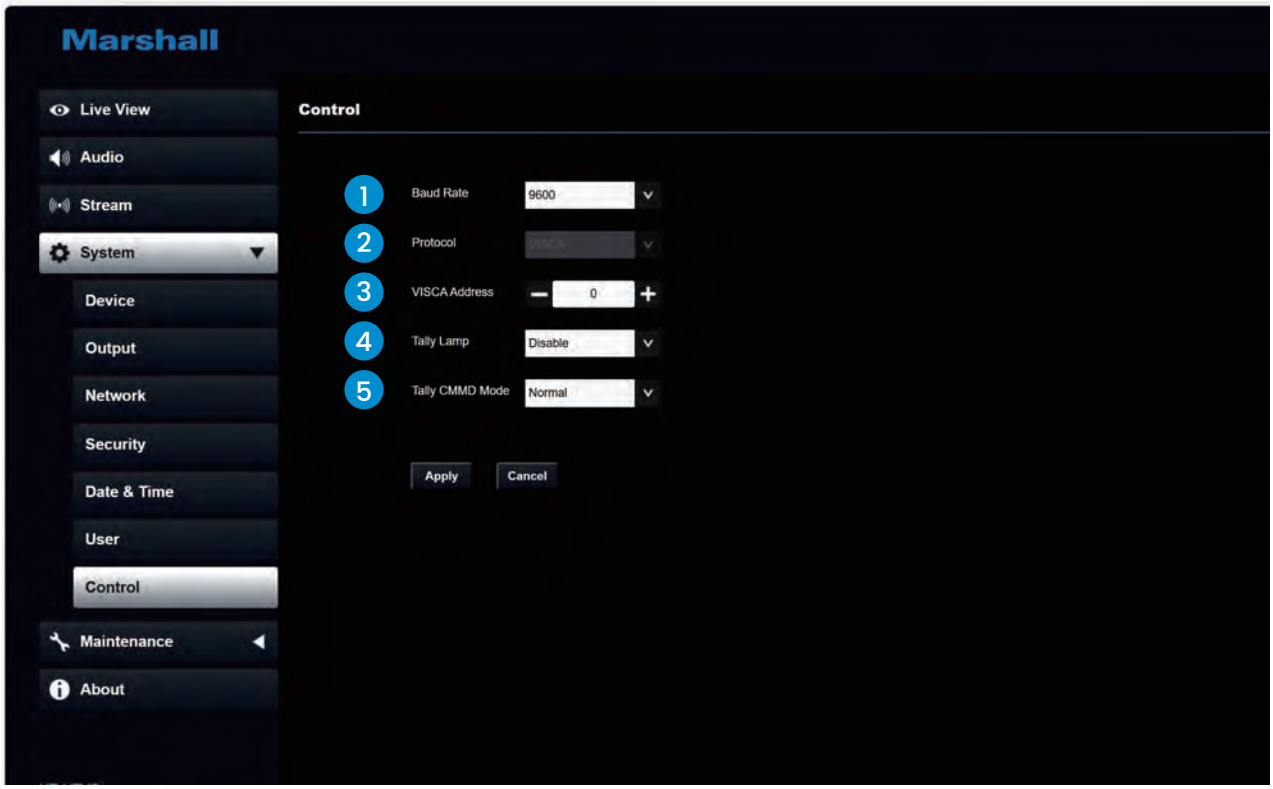
ユーザーアカウントの追加/変更/削除

1. ユーザー名とパスワードは4～32文字に対応します。
2. 認証モード: 新しいアカウント管理権限を設定します。



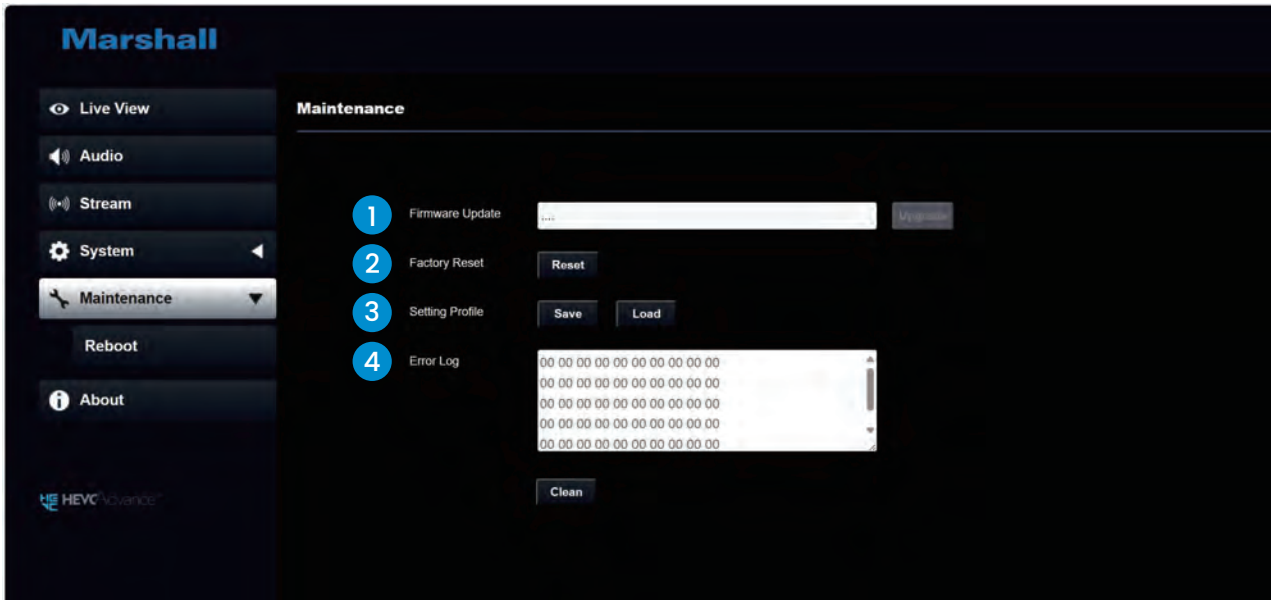
ユーザータイプ	Admin	Operator	Viewer
画像を見る	Y	Y	Y
設定	Y	Y	N
アカウント管理	Y	N	N

6.1.2 System - Control



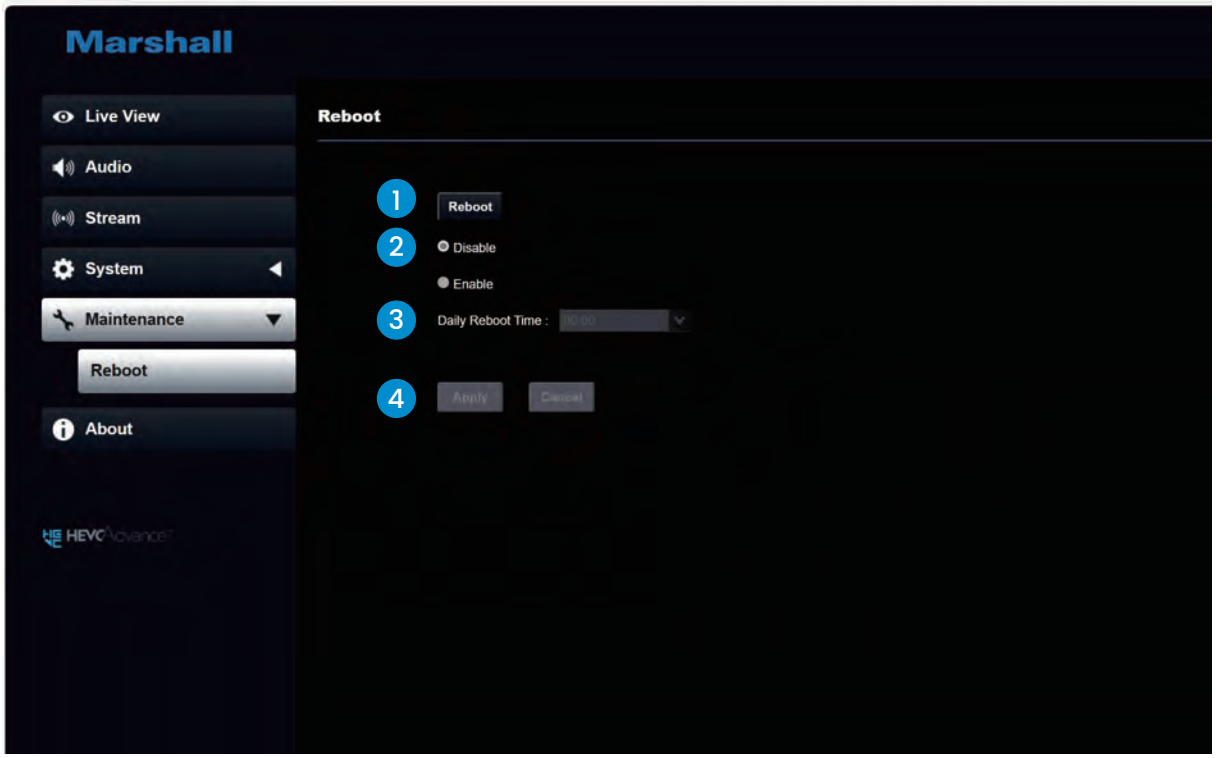
No	アイテム	機能の説明
1	Baud Rate	制御信号の送信速度を 9600/38400 として選択します。
2	Protocol	VISCA
3	VISCA Address	カメラ ID アドレス 0～7 を割り当てることができます。
4	Tally Lamp	有効化/無効化
5	Tally CMD Mode	インジケータライトが RS232 コマンドにリンクされているかどうかを設定します。 1.Nomal（連動しない）：インジケータライトスイッチとモードは別々に設定する必要があります。 ・インジケータライトがオンで、デフォルトモードがオフの場合、インジケータライトモードを設定するには追加のコマンドが必要です。 ・インジケーターライトがオフのときにインジケーターライトモードを設定しても、インジケーターライトは点灯しません。 2.Link: ・インジケーターライトが点灯している場合、デフォルトモードは赤色ライトです。 ・インジケーターライトがオフのときにインジケーターライトモードを設定すると、インジケーターライトがオンになります。

6.1.3 Maintenance



No	アイテム	機能の説明
1.	Firmware Update	[….] をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[Upgrade] をクリックしてファームウェアをアップグレードしてください。 <注意> アップグレードには約2～3分かかります。 <注意> ファームウェアのアップグレードが失敗しないように、アップグレード中はデバイスの操作や電源のオフをしないでください。
2	Factory Reset	工場出荷時の設定に戻します。
3	Setting Profile	設定プロファイルを保存または読み込みます。
4	Event log	カメラにエラーが発生した場合、記録としてここにエラーコードが表示されます。

6.1.4 Maintenance - Reboot



No	アイテム	機能の説明
1	Reboot	すぐに再起動します。
2	Disable	再起動設定を無効にします。
3	Daily Reboot	毎日の再起動時間を設定します。 <注意> 毎日再起動を設定するには、[Settings] - [Time] に移動して SNTP サーバーの同期を完了してください。
4	Timing Reboot	タイミング再起動時間を設定します。

6.1.5 About



機能の説明
ファームウェア バージョン、シリアル番号、モデル名など、カメラの製品情報を表示します。

第 7 章 トラブルシューティング

この章では、CV355-27X-IP/CV355-27X-ND3 の使用中に発生する可能性のある問題について説明します。
ご不明な点がございましたら、関連章を参照し、提案されているすべての解決策に従ってください。
それでも問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

No.	問　題	対　策
1.	電源信号なしで起動する	1. 電源コードが接続されていることを確認してください。 2. PoE接続を使用する場合は、電源が IEEE 802.3af ハブに対応していることを確認してください。
2.	CV355-27X-IP/ CV355-27X-ND3 から 画像出力がない	1. 電源または PoE 供給機能をクリックします。 2. ディスプレイが出力解像度に対応していることを確認します。 通常、解像度は 1080p60/720p60 です。 3. ケーブルを交換し、不具合がないことを確認します。
3.	RS-232 が制御できない	1. 接続が正しいことを確認してください（RS-232入出力） 2. ボーレート設定が制御機器と一致していることを確認してください。
4.	ONVIF ソフトウェアがマシンを 見つけることができない	Web ページの [Setting] - [Video] - [Camera Location] に移動し、ID が英語の文字または数字のみで構成されていることを確認してください。特殊文字とスペースを使用すると、Onvif ソフトウェアはマシンを見つけることができません。
5.	RS232 設定を適用すると タリーランプが動作しない	機能がオンになっているかどうかを確認するには、 [Setting] - [Camera] - [Tally lamp] に移動してください。

保 証

Marshall CV355-27X-IP/CV355-27X-ND3 は、通常の使用条件下でご使用ください。

ご購入日から1年間は無償修理保証の対象となります。
この保証はご購入者様のみに適用され、無償修理保証を依頼する場合には販売店へご連絡ください。
シリアル番号が不明な場合、修理をお受けできない場合がございます。
この保証は、製品の外装や装飾品には適用されません。設計または構造の誤用、異常な取り扱い、
変更または修正は、この保証を無効にします。
販売者またはその他の販売員の販売担当者は、上記以外の保証を行うこと、または上記の期間を超えて、
Marshall Electronicsに代わって保証期間を延長することはできません。
製品および製品の機能を常に改善するための努力により、仕様は予告なしに変更される場合があります。
保証期間内でも以下の場合は有償修理または、修理をお受けできない場合がございます。

- 誤った使用方法や不当な修理、改造等を行っていた場合。またそれによって生じた故障、損傷。
- 落下などによる故障、損傷。
- 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。

無償保証修理は日本国内においてのみ有効です。

サポート窓口

Marshall
株式会社M&Inext　Marshall事業部
〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町2-7-10 関内フレックスビル210
ＴＥＬ：045-415-0203　ＦＡＸ：045-415-0255
ＭＡＩＬ：contact@minext.jp　ＵＲＬ：https://marshall-japan.com/

本書を権利者の許可なく配布、インターネットでの公開等をすることは著作権法上禁止されております。

日本語訳・制作・著作　株式会社M&Inext　2026年7月改訂